令和５年度　宮崎大学教育学部附属中学校　学校経営ビジョン

【学校の教育目標】

真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒の育成

【めざす学校像】

○　学ぶ感動を味わうことのできる学校
○　「人権」と「命」の尊重を基調とし、生徒同士の絆を深める学校
○　家庭・地域社会と連携した開かれた学校

【めざす生徒像】

（我等の目標）

○　自発的に学び、真理を探究する生徒
○　勤労を愛し、お互いに協力する生徒
○　気品を保ち、健康を増進する生徒

【めざす教師像】

○　自己研鑽に努め、魅力ある教育活動等を提供する実践力のある教師
○　生徒に寄り添い、生徒理解に努める教師
○　生徒・保護者・地域の信頼に応える教師

【本校がめざす教育のビジョン】

学び合いのなかで、「真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒」の育成を目指し、
「『北斗』のように県内外で活躍できる社会性を育てる学校」を創造する。

宮大附属中　2023　学びの総体

確かな学力の定着・向上

○　学ぶ意欲の向上や知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成のために、学び合いの充実に努める。
○　質の高い授業を行い、生徒の学力向上を図るとともに、教育実習生および同僚としての地域の教員にモデルとしての授業を提示できるよう努める。
○　これからの高度情報社会に向けての ICT 活用教育を一層推進するために、デジタル・シチズンシップ教育の積極的な導入に努める。
○　学習の基盤となる読解する力や表現する力（説明できる力）等の育成の充実に努める。また、新聞（NIE）等を活用した教育活動を推進する。

豊かな人間性や社会性の育成

○　人間性や社会性の向上、人権意識の高揚を図るために、道徳科を要とした道徳教育の充実に努める。
○　振り返りを重視したキャリア教育を推進する。
・　体験したことの意味を見出し、自分の生き方やキャリア形成について考える力を育む。
・　学習したことを自ら活用できる力を育むとともに、自己決定の場を保障した教育活動を推進する。
○　教育目標の実現を図り、多様なステージで活躍できる行動力と多様な人々と問題意識や課題を共有できる社会性豊かな人間力の育成を図る。

特別支援教育の充実

○　特別支援教室の開設を視野に入れ、生徒一人一人の実態把握と適切な指導・支援の在り方について、組織力を生かした生徒理解と指導力の向上に努める。
○　生徒の困り感の軽減に努めるために、h-QU の実施やその後の教育相談等の支援体制（個別の指導）の充実に努める。
○　特別支援学級と通常の学級との積極的な交流及び共同学習を推進する。
○　特別支援学級において、将来の自立や就労につながるキャリア教育の充実を図る。
○　特別支援学級において、体験的な学習および学びを深める教科指導の充実を図り、生徒の自己有用感を高める。

体力の向上、健康・安全の充実

○　保健体育科の授業や体育的行事をとおして、体力向上の充実を図る指導の工夫に努める。
○　保健便りによる健康安全に関する啓発を図る。
○　全教育活動をとおして、性に関する教育および多様性を認め合う教育活動の推進を図る。
○　保護者、養護教諭、学級担任等の連携を強化し、情報発信の場としての保健センター的機能の役割をもった保健室経営に努める。
○　校内での防災訓練や健康教育等を計画的に実施し、学校内外の安全な環境を構築する。

家庭や地域との協働の充実

○　学校 HP で学校行事の様子や家庭への案内文書等をリアルタイムで情報発信する。また、年度途中に各家庭にアンケートを実施し、学校運営に係る課題等についての状況把握および課題解決を図る。
○　地域を意識した PTA 活動および生徒会活動を展開する。また、他地域とのオンライン等をとおした情報交流を実施し、PTA 活動および生徒会活動の活性化を図る。
○　県・市教育委員会と連携を強化し、研修機関としての役割を果たすとともに、先進的実践例を提供することで地域への貢献に努める。

附属学校園の使命　研究校・教育実習

宮大との連携　中期目標　共同研究

県教委等（教育関係機関）との連携